

令和5年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール 審査結果

賞	学 校	紙名・号数
最優秀賞	岩手県立盛岡北高等学校	「MORIKITA」第4号
優秀賞	山形県立酒田西高等学校	「はまなす」第70号
	青森県立五所川原農林高等学校	「涓流」第46号
	福島県立いわき湯本高等学校	「PTA News」vol. 2
	宮城県気仙沼高等学校	「気高PTA会報」VOL. 11
	福島県立平商業高等学校	「なかしお」第85号
	岩手県立大船渡高等学校	「さかみち」第105号
優良賞	山形県立高島高等学校	「まほろば」Vol. 94
	福島県立伊達高等学校	「あぶくま」2023 Vol. 00
	青森県立五所川原高等学校	「はるにれ」第96号
	仙台市立仙台商業高等学校	「仙商」Vol. 14
	青森県立青森工業高等学校	「青工高 PTAだより」第64号
	宮城県宮城野高等学校	「萌えぎ」第59号
奨励賞	山形県立山形北高等学校	「PTA会報」第81号
	岩手県立黒沢尻北高等学校	「黒陵」vol. 144
	秋田令和高等学校	「令和」Vol. 7
	秋田県立大館桂桜高等学校	「さくらとかつら」第16号
	秋田県立横手城南高等学校	「PTA会報」第109号

令和5年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール  
外部審査委員講評（全体）

前東北芸術工科大学教授・元山形大学大学院教授 渡部 泰山

東北各高等学校から選抜された18高校のPTA広報誌を丁寧に読み、審査させていただきました。いずれの高校PTA紙の中にも、保護者のご息の通う学校、教職員への深い愛をしのばせ、地域との連携、部活動支援、進路指導、学校行事への参画と協働、リーダーの方々の研修会報告など、PTA活動の本来の目的に沿った実践的活動が記録されてありました。とりわけ学校の特色を鮮明に打ち出した紙面構成、写真、印刷の鮮明さ、割り付けの洗練、表紙の見出しなどに一段の工夫が見られ、保護者、教職員、地域の方々に、手に取って読んでもらいたいという編集担当者の熱い思いが伝わってきました。

コロナ禍の中で沈黙、静思を余儀なくされた時間もやつのことで過ぎ去り、高校生たちの各行事での溌剌さ、青春の躍動を、大胆に前面に押し出した編集が特に目につきました。また、そうした生徒に寄り添う保護者、校長をはじめとする教職員の寄り添いも、慈愛に満ちた言葉で綴られていました。

一方、2011年の東北の大地震から13年目、元旦に発生した石川県大地震、航空機事故、私たちを取り巻く社会の状況は、大人だけではなく、高校生の未来意識、判断、思慮を置き去りにしたまま、先行きの見えないあいまいで奇妙な時代の空気を日本の隅々まで漂わせています。さらに産業、政治、地域の社会構造の衰退、劣化ともいべき時代の風は、未来を創りあげる主権者である若い人たちが受けているばかりではなく、共にこの時代を生きている私たち大人もまた、立ち位置を見定められないまま逡巡しているとも言えます。

ただ、いずれのPTA会紙にも、学校側の作成する学校案内と大差ない、あるいは取り込んでいる紙面構成となっているのも少なくありませんでした。PTAの独自の役割、視点に立って、単なる学校案内とは差異化する紙面構成、例えば、災害の教訓、高校生と政治参加・選挙権、地場産業の特色、社会人として必要な心構え、親が生涯にわたって伝えたいこと…」等、社会の先輩として生き伝え学び研修する姿そのものを特集として組むなど、本当に今必要な時なのではないかとも感じています。

これからもPTA活動のみならず、教職員、地域社会、同窓会の方々の並々ならぬ教育愛の支えによって、輝かしいそれぞれの学校の伝統が築かれて行かれることを切望しています。PTA活動は、子どものいのちを未来につなげる架け橋となる集いです。人の哀しみや喜び、他者への愛ある眼差し、想像力、洞察力など、心の体力をつける学校教育の学びに、いつまでも寄り添って下さることを祈ります。

令和5年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール  
外部審査委員講評（個別）

前東北芸術工科大学教授・元山形大学大学院教授 渡部 泰山

県	No.	学 校	講 評
青 森	1	青森工業	表裏表紙に、広大なコラージュ風な写真構成で学校、生徒活動を見せているのは強烈なインパクトがあります。多彩に生徒の諸活動、とりわけ地域活動(ねぶた)への積極的な参加は、歴史ある高校の躍動感と生徒の青春の熱量を感じさせます。
	2	五所川原	表紙の立佞武多作成集合写真は、晴れやかで暖かなP、地域の人々との交流感を浮き上がらせています。全体の編集は地味ですが、PTA会報紙として、広範で豊かな委員会活動を誌面に表しています。骨格のしっかりとしたPTA活動の印象を受けます。
	3	五所川原農林	田園の中に映える校庭と校舎は絵を見るようです。四季に合わせたP活動は、写真の割り付けも見やすく、ほのぼのとした活動をしのばせています。生徒の活動が鮮明な写真と共に農高生の特色を浮かび上がらせています。メディア機器の調査も時宜を得たものです。
岩 手	4	盛岡北	「愛」をテーマに掲げ、「花束」「花道」をキーワードに保護者の願いを添えた手作り感あふれる誌面構成は、割り付けの工夫と相まって、読者を引き込む魅力に満ちています。学校、生徒の学び・活動の背中に、保護者の存在が見える編集は、秀逸でした。
	5	黒沢尻北	お弁当のエピソードは、生徒、保護者の愛がたくさん詰まった力作と言える特集です。一つひとつの言葉に、豊かなcommunicationのツールが詰まっています。各行事、生徒の活動記録の写真、結果の構成はやや単調な印象を受けました。
	6	大船渡	表紙の「さかみち」は、そこに高校生たちの物語を感じさせる写真の切り取りです。見出しも丁寧です。特集のメッセージの割り付けに工夫が必要だと感じました。行事などの写真は丁寧な配置でしたが、全体として文字、割り付け等の紙面構成にやや統一感がなかった。
宮 城	7	宮城野	学校の特色を鮮明に打ち出した紙面構成に、学校、生徒の勢い、熱量の高さ、躍動感を感じました。Pの活動及び丁寧な研修会の活動記録も報告されていますが、全体としてはやや薄い感じがします。色彩豊かですが、写真の鮮明度が低いと感じました。
	8	気仙沼	見出し、写真、構成などの誌面作りがきっちりとまとめられて、丁寧な広報誌に仕上がっています。P活動も総会、交通安全指導など生徒との一体感が感じられます。全体として役員中心の活動感があり、全体活動としてはやや希薄です。生徒活動は元気溼漑感満載。
	9	仙台商業	学校の四季感あふれる表紙です。P活動の報告を受けて、紙面には仙商高の一年が振り返られ、活発な学校活動が紙面を飾っています。母の愛溢れる弁当が伝えられていますが、P全体の活動は希薄です。保護者の顔がもう少しほしい。

秋 田	10	秋田令和	四季折々の生徒の活動が鮮明な写真で丁寧に切り取られ、その瞬間瞬間が深い思いでを甦らせています。P活動も見出し、委員会風景が明るく、充実した取り組みが生き生きと写し出されています。表紙に内容の見出しなどがあればなお親切かと思いました。
	11	大館桂桜	Tik Tokでクラス動画紹介、部活動、文化祭、修学旅行など、ふんだんに生徒活動の紹介を鮮明な写真で切り取り、その発信力は素晴らしい。また、特集的な卒業生からの保護者へのメッセージには、ジーンと胸が熱くなりました。Pの独自の活動の切り口も欲しかった。
	12	横手城南	見出し、割り付け、写真など総じて編集はしっかりとした仕上がりです。P活動、役員等もまとめられていますが、具体的活動は希薄です。創立110周年にからめた特集など工夫あればと思います。編集の基本的な骨格がしっかりできている分、惜しまれます。
山 形	13	山形北	表紙に一年間の生徒の活動をスナップとして生き生きと表現。凛としたすがすがしさを感じます。全体とし、P委員会の活動報告、そして学年、部活動に寄り添う保護者の思いが前面に綴られた紙面として特化されています。割り付けも読みやすく丁寧な編集です。
	14	高畠	高校野球の応援、マルシェの参加の表紙写真、その解説まで加えた野心的な表紙です。P活動の基本方針を提起、共有した誌面は、一つのP広報誌のあるべき型を示しています。具体的活動の一端として模擬面接への参画も、P活動の実践として評価されてよい。
	15	酒田西	artな表紙でおしゃれ感。P広報紙の歴史を振り返りながら、保護者と教員の地元仕事発見、各委員会ま活動等、丁寧なP活動の実践を継続。特集の家族との対話問題は意味深いものです。生徒の活動、学校紹介も温かみ満載の構成です。
福 島	16	伊達	新生高校の息吹が、紙面全体に感じられる勢いある学校活動が活写されています。準備号としてのP広報誌ということで、特集はいずれも学校活動、紹介に特化されています。最終頁のP活動委員会の思いの結集こそ、新生高校を支える力となることが期待されます。
	17	平商業	桜の花に囲まれた祝卒業の晴れやかなバージョン。P活動と役員からの暖かなメッセージ。印刷、カット、割り付けは見やすく、読みやすい。P活動、学校祭、学年便り、卒業生からのメッセージなど、深い母校愛に包まれていた。
	18	いわき湯本	学校の特徴ある学び及び生徒の活動が青春満開、疾風怒涛のごとく、圧倒的な写真とともに記録されています。躍動する生徒の姿を届けたいという思いが伝わります。裏表紙に記されたP活動の記録報告も丁寧です。具体的なP活動の姿もみたかった。